



豊玉二中だより

平成30年度 第10号
発行日 2月18日(月)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

もうすぐ3月・・・

校長 神山 信次郎

新年が明けたと思っていたら、はや1ヶ月がたちました。新学年の準備のため、殆どの生徒は、日常の活動に前向きに取り組んでいると思います。そして、3年生は入試本番の時期を迎えています。インフルエンザの予防はもとより、健康に十分留意しつつ、これまでの努力の成果が発揮できるようしっかり頑張ってください。また、2年生はもうすぐスキー移動教室が予定されています。単にスキーの技能を習得するだけでなく、集団生活や係活動を通し、よりよい仲間づくりにつとめ、責任や協力の大切さを学んでほしいと思います。1年生は、落ち着いた学校生活をおくり、2年生の準備をしてほしいと思います。



さて、今年度の授業日数も残すところ40日を切りました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるとおり、これからは月日がまたたくまに過ぎていくように感じるはずですが、皆さんはこの短い期間に次年度への準備をしなければなりません。特に3年生は、自己の進路を決定し、3年間を締めくくる卒業の時を迎えます。一人一人が自覚をもってほしいし、ぜひ有終の美を飾ってもらいたいと思います。

中学校生活3年間の最後にやってくる進路決定の期間は、多くの生徒にとって初めての試練であり、一生の中でもとても大切な時期と言えます。努力し、挑戦し、それを乗り越えることで、初めて「やり抜いた自信」や「悔いのない生き方」を実感することができます。また、その実感は、これからの生徒たちの人生を支える大きな力となるはずですが、

「冬来たりなば 春遠からじ」という「ことわざ」どおり、厳しい寒さの時期はいつまでも続くものではありません。春はすぐそこまで来ています。そして、厳しさを乗り越えた後には必ず希望に満ちた時が控えています。残された中学校生活を大切に、一人一人がしっかりした過ごし方を心がけ、自らの将来を切り拓いていてもらいたいと思います。3年生全ての生徒が希望をもって笑顔で卒業式を迎えられることを心より願っています。

1、2年生も、これから3年生と同じように進んでいくことになるのです。将来への希望が描けるように、今からしっかりと心構えをもって、常に自分を向上させていってほしいと思います。

